



エコ・ファーストの約束

～環境先進企業としての地球環境保全の取り組み～

平成22年5月31日

環境大臣 小沢 鋭仁 殿

三菱重工パーキング株式会社
取締役社長

脇 寛 市

三菱重工パーキング株式会社は、立体駐車場の設計・製造・保守を行う企業として、持続可能な社会の実現のために、地球温暖化防止を最重要課題として、以下の取り組みを進めて参ります。

I. 環境配慮型立体駐車場の提供を通じて環境負荷の改善に努めます。

1. 電気自動車やプラグインハイブリッド自動車の普及を促進する立体駐車場を市場投入します。
 - 2010年1月から電気自動車やプラグインハイブリッド自動車用の充電機能を有したエレベータ式立体駐車場『plug-in リフトパーク』を市場投入します。
 - 引続き、充電機能を有した垂直循環式立体駐車場を2011年3月、地下式立体駐車場を2011年9月までに展開します。
 - 2012年度には当社が新規受注する立体駐車場を基数ベースで50%以上、2020年度には90%以上を充電機能付き製品とすることを目指します。また、既設改造を含め2020年度には当社が保守する全ての立体駐車場の内10%以上を充電機能付とすることを目指します。
2. 使用電力量を低減するエコ立体駐車場を2011年度に市場投入します。
 - リフト下降時の回生エネルギーを有効活用すると共に、車重に見合った最適な昇降速度制御により、立体駐車場の運転電力を2009年度比で30%削減します。
 - 運転状況に合わせ、小まめにセンサ電源や動力電源を切ることで、立体駐車場の待機電力を2009年度比で30%削減します。
 - 太陽電池を利用した電力を蓄電池に充電し、立体駐車場の運転時に使用することでCO₂を削減します。
 - 既納立体駐車場の遠隔監視により、立体駐車場のエコ運転を支援します。
3. 設計改善により、2011年度には2009年度比でエレベータ式立体駐車場の鉄骨重量を10%削減します。
4. 2010年度以降契約の立体駐車場について、照明器具の100%LED化を実施します。(但し、保守用、工事用照明器具は除く。)また、既納立体駐車場ではLED照明器具への取替提案により、省エネ化を推進します。

II. 事業活動を通じた地球温暖化防止の活動を推進します。

1. 建設現場では他業者とも協力し、廃棄物の最小化と再資源化率の向上を推進します。
2. オフィスでは、業務終了時のOA機器主電源OFF、無人空間の消灯、一斉定時退社日の徹底により、2009年度比で2010年度は3%、2011年度は5%、2020年度には30%の電気使用量の削減を目指します。
3. 両面印刷、縮小印刷(Nアップ)機能の活用と、裏紙再利用により、2009年度比で2010年度には3%、2011年度には5%のコピー用紙の削減を目指します。
4. オフィス用品購入時には、環境規格対応商品の選択を徹底します。

三菱重工パーキングは、上記取り組みの進捗状況を確認し、その結果について公表するとともに、環境省へ報告します。

 三菱重工パーキング